

1 3	豊橋	○杉山小 <sup>ミウラヒロコ</sup> 三浦広子 杉山小 高嶋 東 高師小 熊川うらら 東田小 浦川昌夫 賀茂小 大高 翔 二川小 高橋真佑 吉田方小 石川翔太
-----	----	--

分科会番号	1 2 a	分科会名	自治的諸活動と生活指導（小学校）
-------	-------	------	------------------

## 研究題目

協働的な学びを通して、「なりたい自分」を引き寄せるため、前向きに行動する子の育成  
 ～小学6年生「こっちへ来いよ、なりたい自分！－理想の中学生を目標として－」の実践を通して～

### 1 主題設定の理由

近年、人口知能（AI）の普及・発達、情報化やグローバル化による急速な社会的変化は、人間の予測を超えて進展している。中央教育審議会答申は、「この予測困難な社会の変化に主体的に関わり、（中略）どのような未来を創っていくのか、どのように人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要である」と述べている。文部科学省『我が国の子どもの意識に関するタスクフォース』における分析結果によると、「諸外国と比べ、我が国の子供たちは（中略）自己に対する肯定的な評価が低い状況にある。（中略）子供たちの自己肯定感を高めていくことが重要である。」とし、日本の傾向として他者からの評価で自己有用感を獲得し、その獲得が自己肯定感を高めると述べている。よって、強みや努力を認め合う経験により自分自身を前向きに捉え、こんな自分になりたいと自ら理想像を目標とし動き始めると考えられる。この経験を継続的に行うことで、困難な時代を力強く進み続ける原動力が「自分の未来の姿」である児童を育成していきたいと考えた。

本学級の児童は、担任が話したことを素直に聞き、学級で決めたことに真剣に取り組める。1学期修了時、「学年目標『突破』に向け、学級目標『挑戦』ができたか」と聞くと、約1割の児童が挙手をした。できなかった児童の理由は、「できていないことが多いから」というものだった。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、友達との交流を制限された生活をしてきたこともあり、友達を大いに褒めたり、励ましたりすることに抵抗を感じる児童が多くいる。そこで、なりたい自分を描き、それを引き寄せる方法を考え、実践してほしいと考えた。目標を実現できたことを皆で称え喜び合う経験をすることで友達との前向きな関わり合いのよさを実感しながら、一人一人が「自分がんばった」と努力を認め、自信をもち、なりたい自分を引き寄せる喜びを味わってほしい。

本実践は、自己理解を深め、前向きな捉え方を話し合い、自分をやる気にする方法を実践し、なりたい自分を引き寄せる活動を展開する。自己理解、前向きな見方、自分をやる気にするという各段階で、目標の決定（P）・実践（D）・振り返り（C）・改善（A）を繰り返す、学校行事と絡めながら進める。具体的な目標を設定し、物事の捉え方や自分をやる気にする方法を試してみることで、なりたい自分を引き寄せる力を段階的に培う。その際にチームで交流したり、実際にその方法を試したりすることで、具体的でより自分に合った目標や方法を見つけだし、努力の経過を認め合う「突破チャット」を設定する。そうすることで、友達と意見を交流し励まし合い、他者と前向きな気持ちを共有することのよさを実感しながら、なりたい自分を引き寄せることができる。以上から、「中学校に向けて、なりたい自分を寄せたい」という願いのもと、友達との関わり合いを通して、自分のもつ力や今できていることに目を向けて自信をもち、なりたい自分を寄せようと努力していこうとする態度の育成を図る。

## 2 研究の計画

### (1) 仮説

- ① 友達との意見交流の場「突破チャット」を設けることで、「なりたい自分」を引き寄せたいという前向きな思いを高めることができるであろう。
- ② 自分を知って、前向きな捉え方を話し合い、PDCA サイクルを用いて、自分をやる気にする方法を試す授業を行うことで、「なりたい自分」を引き寄せる行動を自ら起こすことができるだろう。

### (2) てだて

#### ① 突破チャットの設定

具体的でより自分に合った目標や方法を見つけだし、努力の経過を認め合う場を設定する。

#### ② よいところやがんばり、成長を認める掲示

お試し期間中、自由に友達へ前向きな言葉を書き込める掲示、個人がどの程度なりたい自分を引き寄せたかが全体のがんばりへと反映され、成長を実感できるような掲示の設置

#### ③ 3つの段階を踏み、「なりたい自分」を引き寄せる方法を考える場の確保

具体的に目標を決めて、行動する（1週間試す）、振り返る、改善することを繰り返し、自分を知る・前向きに捉える・自分をやる気にするという、「なりたい自分」を引き寄せるための3つの力を段階的に養う。

### (3) 抽出児Aについて

何事も真面目に取り組むことができるA児。学級で決めたことや目標を実現しようと友達の意見をよく聴いて取り組もうとする。自分の考えや思いはもっているが心配性なところがあり、「これでよいのかな」と不安を口にし、目標に向かって行動することに戸惑う姿が頻繁に見られる。

A児の授業前アンケート【資料1】からは、中学校生活を楽しみにしている反面、勉強に対して不安を抱いていることから、自信はなく、前向きさや、やる気が低迷していることがうかがえる。本実践を通して、A児が前向きに「なりたい自分を引き寄せるぞ」との思いを原動力に、やる気いっぱいで行動する姿を期待する。さらに、友達に自分の強みや努力を認められて賞賛されることで、自分の力や考え、行動に自信をもってほしいと願う。

## 3 研究の実際

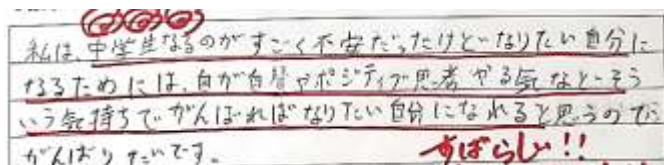
### (1) 【導入部】 どうしたらなりたい自分になれる？

導入で、中学生の学校生活についての考えを伝えた。「テスト週間無理」と心配の呟きが止まなかった。その中で「中学生は理想像を具体的に考えている」という声があがった。そこで、なりたい中学生像を考えて現実との違いを挙げた上で、どうしたらなりたい自分に近づけるのかについて話し合いに

【資料1 A児の授業前アンケート】

【資料2 A児のなりたい自分とGAP】

なった。自画自賛、ポジティブ思考、やる気を出すことを、物や人に頼らず、「自分で」できることが一番大切との意見が賛同を得た。A児は、「なりたい自分に向けてできていることか」と悩み続け、できていないことを書き連ねたが【資料2】、



【資料3 振り返り】

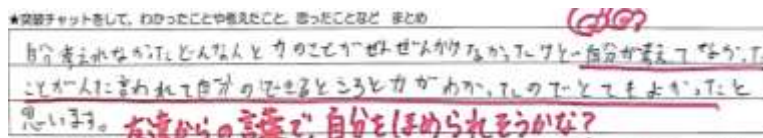
話し合い後には、「なりたい自分になれるかもしれない」と希望が見えた様子だった。【資料3】

(2) 【第一段階】

自画自賛して、引き寄せよう！

① 授業の様子【てだて①・③】

自画自賛するには、どうしたらよいの



【資料4 A児の突破チャット後の振り返り】

かについて話し合った。ある児童が、「周りから褒められたら自信つくけど」と話したことから、突破チャットで「自分の力を知る」場を設けた。A児は硬い表情で「私には、どんな力があって、どんな人なのか」を聞いた。「真面目で周りを気遣える」との意見から嬉しそうな表情を浮かべた。突破チャット後の振り返りでは、「自画自賛できるかわからんけど、自信がついた」と話した。【資料4】「もっと褒められれば、自信がつく」との意見から、チームの友達と自分の力を見つける1週間チャレンジをすることとなった。A児は、目標に「自分と友達のよいところを必ず見つける」と書いた。

② 1週間チャレンジの様子【てだて②・③】

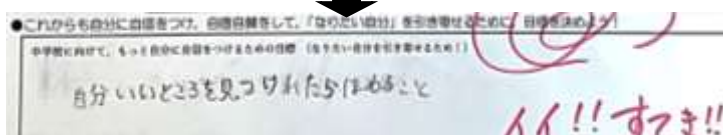
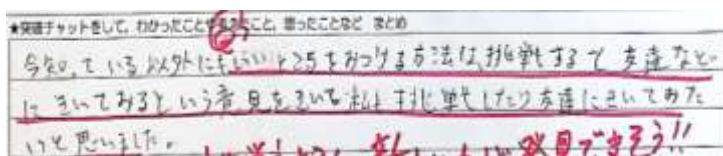
いつでもどこでも気づいたら書くことができるようにと、全員に付箋を配った。修学旅行と絡めて期間を設定したことで、「たくさん見つかる」と休み時間の掲示の前は常に人だかりができた。【資料5】A児は毎日欠かさずに友達の力を書き、自分の掲示を確認して満面の笑みを浮かべる姿があった。しかし、「自分の力は書けたか」と問うと、「どうしたら見つかるかわからん」と話した。少しずつ自信をつける様子が見え始めるが、自画自賛する方法がわからず、戸惑っている様子だった。



【資料5 掲示1日目と最終日の比較】

③ 1週間の振り返りと改善【てだて①・③】

「1週間チャレンジはどうだったか」という問いには、「友達が気づいてくれたから、自分が進化した」「自画自賛できたし、引き寄せている」と喜びの声があがった。「これからも続けたい」という声から、突破チャットでは自画自賛を続けるための秘訣や目標を話す場になった。A児は、自分を褒めることが難しいことを述べ、「今知っている自分以外にも自分を知る方法を知りたい」と話した。「挑戦して新しい自分を見つける」ことが大切と気づき、振り返りには挑戦して自分を知り、自分を褒めることを今後の目標にした。【資料6】突破チャットを通して、自分を褒めることに前向きになったことがわかる。



【資料6 A児の突破チャット後の振り返りと目標】



(2) 【第二段階】 ポジティブに考えて、引き寄せよう！

① 授業の様子【てだて①・③】

「算数でわからなくなると、もう無理だでやらん」という話題から、ポジティブに考えるにはどうしたらよいか話し合いになった。「全部できん」と呟く声から、ある児童が「突然ポジティブは難しいから、ネガティブにならない言葉が大切。もう無理『だけど』次もあるからって続ける」と話した。A児の班は、ネガティブにならない言葉に着目した話し合いが展開された。振り返りでは、本当にポジティブになるか1週間チャレンジをしたいということで、目標を立てた。A児は、すぐに【資料7】のように書いた。ポジティブな考え方に変えたいというA児の意欲がうかがえた。

② 1週間チャレンジの様子【てだて②・③】

A児は、実践中「難しいから無理」「学習発表会、緊張するから嫌」と呟くと、友達に「嫌だけどって続けるとよいよ」と声をかけられ、「そうだった」と言葉を考える様子があった。掲示は、ネガティブにならなかった日をチェックし、友達からのエールとアドバイスを付箋で貼るようにした。【資料8】

A児も何度も付箋を貼り、真剣に友達からの言葉を読む様子から、友達からの言葉が前向きな行動へとつながっていることがうかがえた。

③ 1週間の振り返りと改善【てだて①・③】

A児の振り返りからは、ポジティブ思考にする方法に確信をもったことがわかる。【資料9】

しかし、すぐにネガティブになることを不安に思い、突破チャットでは「ポジティブな言葉を長続きさせる方法」を相談した。「これからも意識すれば大丈夫」との意見を聞き、笑顔を見せた。今後の目標には継続の意欲が溢れ、「絶対長続きさせてポジティブになる」と決意を述べた。【資料10】

(3) 【第三段階】

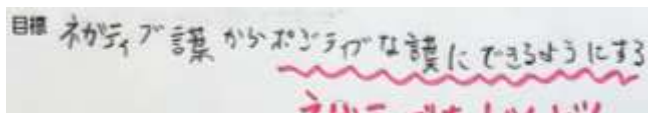
やる気を出して、引き寄せよう！

① 授業の様子【てだて①・③】

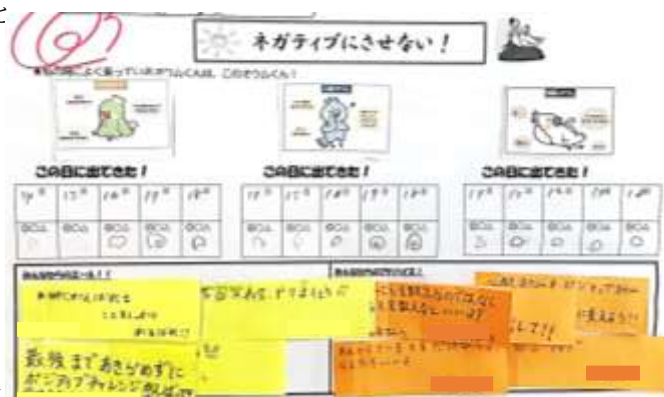
ポジティブな考え方ができれば、なりたいたい自分を引き寄せるために行動するのみという前時の振り返りから、「自分に

やる気を出させる方法」を話し合った。A児の案には、前向きな思いが溢れ、振り返りには、TOPPA GO!で限界を超えてなりたいたい自分を引き寄せようと動き出す姿がうかがえた。【資料11】

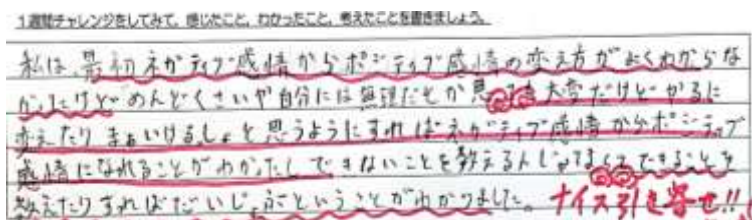
突破チャットでは、やる気を出させる具体的な言葉を考えた。A児は、前時を参考に「無理じゃなくて、まあいけるっしょってがんばろう」という言葉から、挑戦することに焦点を当てた言葉に変えた。



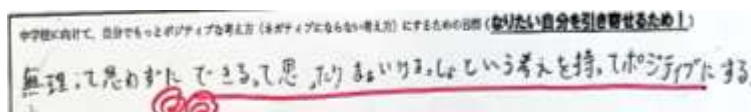
【資料7 A児の1週間チャレンジの目標】



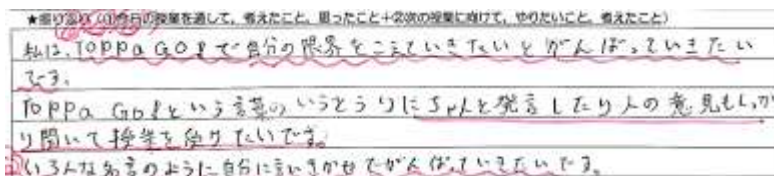
【資料8 A児の1週間チャレンジの掲示】



【資料9 A児の1週間チャレンジ振り返り】



【資料10 A児のこれからの目標】



【資料11 A児の振り返り】

突破チャット後の振り返りにはTOPPA GO!で挑戦しようという思いを高める様子がわかる。【資料12】

「面倒くさいことがあっても、やる気を出してがんばる」と目標を話した。

② 1週間チャレンジの様子【てだて②・③】

A児は、特に苦手な長距離走大会と宿題への取り組みに焦点を当ててチャレンジをした。チャレンジ3日目には、TOPPA GO!を声に出したことでやる気を出して取り組めたと喜ぶ姿があった。【資料13】

③ 1週間の振り返りと改善【てだて①・③】

A児の振り返りには、TOPPA GO!の力への確信と継続する意欲で溢れた。【資料14】突破チャットでは、

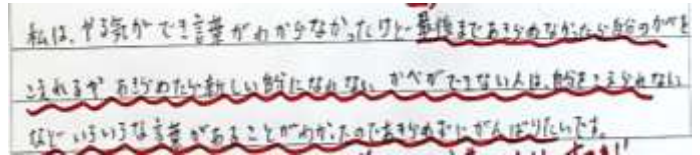
「TOPPAGO!を思い出す方法」を相談し、真剣に思いを話す姿があった。振り返り【資料15】から、「教室に貼ればやる気を出せて、なりたいたい自分を引き寄せられる」との提案があがった。

(4) なりたい自分引き寄せチャレンジ、やってみよう!【てだて①・③】

前時の振り返りの中で、「これから自分だけの目標を立て、自分から行動することが大切」という話題から、身につけた3つの力を使ってなりたいたい自分を引き寄せるチャレンジをしようということになった。

大谷選手の目標達成表を参考に、A児は今日から即動くことができる具体的な目標を考えた。【資料16】実践中、がんばった自分を「えらい」と褒めたり、苦手な算数に「がんばろう」と呟きながら学習に取り組んだりする姿が見られた。A児は、振り返りの紙を受け取ると、すぐに「なりたいたい自分を引き寄せられた」と書き、授業前の自分と比べて自らの成長を実感し、苦手なことにこれからも挑戦し続ける意志を綴った。

【資料17】突破チャットでは、苦手なことに挑戦する方法を真剣に話し合った。話し合いの結果、行動する前にどんな自分になるのかを想像し、できたときには全力で達成感を味わうルーティンを繰り返すことと決まり、「絶対やります」と決意を述べた。これからの目標には挑戦を続け、なりたいたい自分を引き寄せる意志が溢れていた。【資料18】

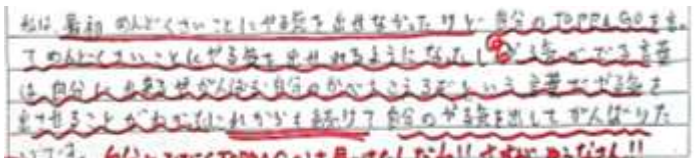


【資料12 A児の振り返り】

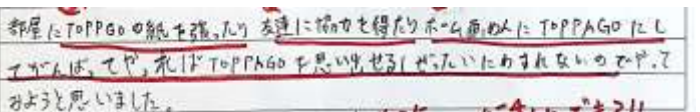
★1週間チャレンジ日記★

日付	5日(火)	6日(水)	7日(木)
目標達成率 ◎○△	△	◎	◎◎
・目標達成 (なぜその達成感を感じたのか)	めんどうくさいことだ、TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。	TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。	TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。
・感想 (いつかこの方法を他の友達にも教えてあげたい、自分も頑張りたい、やる気を出して頑張りたい、)	やる気を出して頑張りたい、宿題もやるぞ、がんばりたい!	やる気を出して頑張りたい、宿題もやるぞ、がんばりたい!	やる気を出して頑張りたい、宿題もやるぞ、がんばりたい!
・短時間での達成感	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!
・自分への励み	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!	たがふな、がんばるぞ、宿題もやるぞ、がんばりたい!
・他者との関わり	やる気が出たよ、TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。	やる気が出たよ、TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。	やる気が出たよ、TOPPAGO!を声に出してやる気を出した。

【資料13 A児の1週間チャレンジ毎日の振り返り】



【資料14 A児の1週間チャレンジ振り返り】

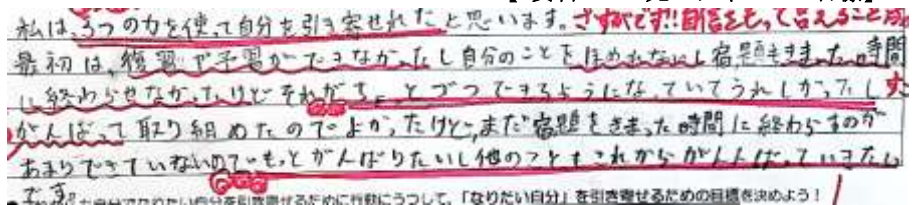


【資料15 A児の突破チャットの振り返り】

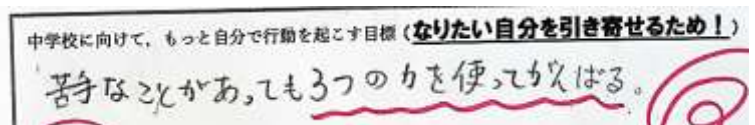
1週間チャレンジの具体的な内容

1. 目標達成率	◎◎◎
2. 目標達成	えらいぞ、がんばったね!
3. 感想	えらいぞ、がんばったね!
4. 短時間での達成感	えらいぞ、がんばったね!
5. 自分への励み	えらいぞ、がんばったね!

【資料16 A児のチャレンジ目標】



【資料17 A児の振り返り】



【資料18 A児なりたいたい自分を引き寄せるための目標】



## 4 研究の成果

### (1) 手だて1「突破チャットの設定」について

自分を知る場では、導入部でできていることはないと自分に対して自信のなさがうかがえるA児だったが、突破チャットを通じて、挑戦して新しい自分を見つける方法を知った。突破チャットが心の拠り所となり、前向きな思いを高める場としての有効性を示すものである。



### (2) 手だて2「よいところやがんばり、成長を認める掲示」について

友達にエールや助言の言葉を自由に書き込める掲示により、個人がどの程度なりたい自分を引き寄せたかが全体のがんばりへと反映され、掲示を励みに前向きに行動しようとする更なる意欲の高まりがあったといえる。【資料19】

【資料19 成長が実感できる掲示】

### (3) 手だて3「3つの段階を踏み、なりたい自分を引き寄せる方法を考える場の確保」について

自画自賛の力を養う段階では、どうしたら自画自賛ができるのかと実際に行動に移す方法を追求する内容にまで考えが至っている。やる気を出す段階では、TOPPA GO!の力を確信してチャレンジを継続する意欲で溢れた。なりたい自分引き寄せチャレンジでは、宿題を後回しにせず時間になったら始めようと実際に行動したことがわかる。「なりたい自分」を引き寄せる3つ段階を踏んでPDCAサイクルを繰り返すことで、なりたい自分を引き寄せる行動を自ら起こすことができたといえるだろう。

## 5 今後の課題

本研究では、友達の多様な価値や考え方に触れながら学びを深めることを通して、「なりたい自分」を引き寄せたいと、前向きに行動する子の育成を目指した。A児の事後アンケートは、自画自賛、ポジティブ思考、やる気の項目の数値が上がっており、なりたい自分を引き寄せるための挑戦を続ける意志で溢れている。【資料20】

事前、事後アンケートの結果【資料21】を比べると、どの項目も数値が上がっており、学級全体としても、なりたい自分を引き寄せるための3つの力を養うため、すすんで行動ができたことがわかる。そのため、本実践は、なりたい自分を引き寄せるために、前向きに行動する児童の育成に有効であると考えられる。

心の成長を図ることは、児童の前向きな意欲の向上、自らすすんで行動する力の養成に有効であった。限られた教育課程の中で、教科等横断的な視点から、他で学びを活用したり関連づけたりして、学びを深め、実際に活用できる力にしていく必要がある。そうすることで、実践の効果を高め、カリキュラム全体で児童を育てる意識をもち、先の見通しをもった実践へとつなげていけると考える。



【資料20 A児の事後アンケート】

内容	事前(%)	事後(%)
中学校は楽しみか	57	76
なりたい中学生になる自信があるか	58	78
苦手なことにも、前向きに挑戦できそうか	58	80
やる気を出して、中学校生活に取り組みそうか	60	82
記述欄に、「中学校生活で前向きに行動していきたい」旨の記述	17	100

【資料21 事前、事後アンケート結果の比較】